

### 第3回 小田原市水道料金審議会 次第

日時：平成21年10月29日（木）

午後2時から

場所：水道局 第2・3会議室

1 第2回 小田原市水道料金審議会の会議録の確認

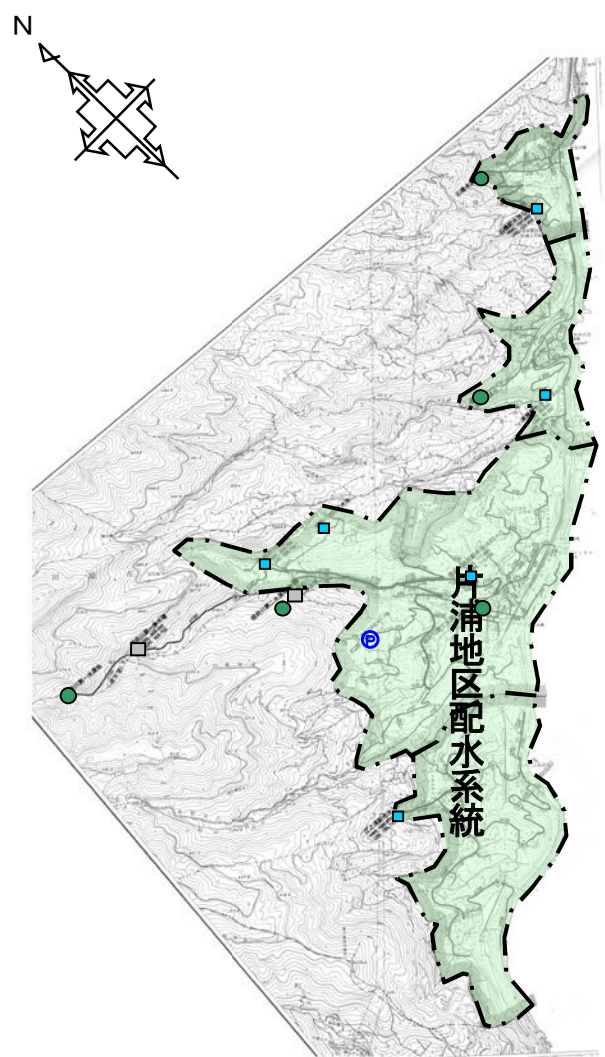
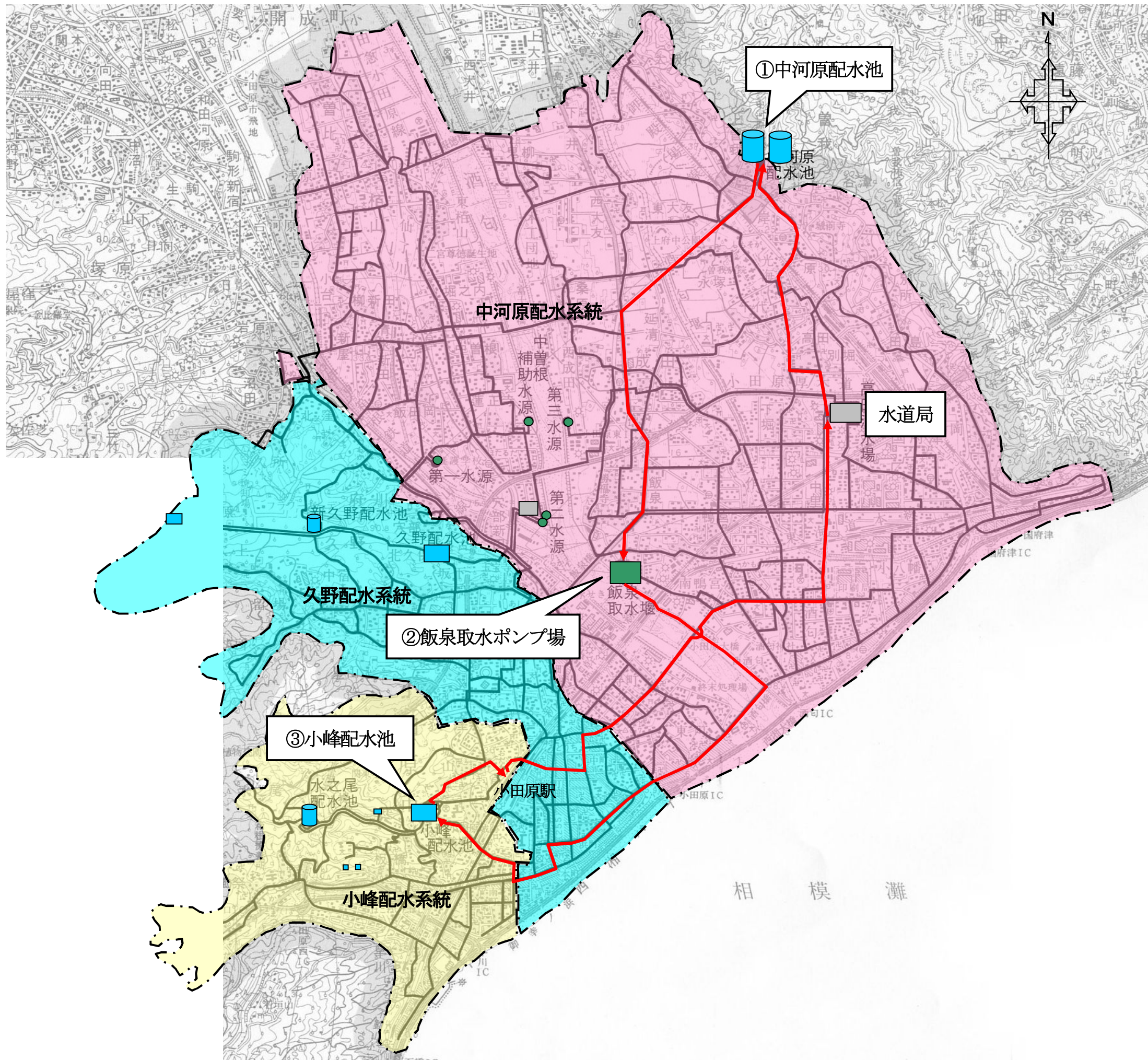
2 施設見学

以 上

## 第3回小田原市水道料金審議会

### 施設見学行程

- 14:00 (集合)  
第3回水道料金審議会(第2回水道料金審議会会議録の確認)
- 14:15 (水道局出発)  
↓
- 14:25 (到着)  
↓ ①中河原配水池見学(15分)
- 14:40 (出発)  
↓ <企業団水道路～国道255号:経由～>
- 14:50 (到着)  
②飯泉取水ポンプ所(40～60分)
- 15:50 (出発)  
↓ <酒匂橋～国道1号～競輪場:経由～>
- 16:10 (到着)  
③小峰配水池(15分)
- 16:25 (出発)  
↓ <城山競技場:経由～>
- 16:30 小田原駅西口
- 17:00 水道局到着



# 施設概要

## 1. 中河原配水池

	構造・形式・能力
標高 73.9m  竣工 昭和51年(1号池) 昭和62年(2号池)	配水池 有効容量 20,000m <sup>3</sup> [ PC造 10,000m <sup>3</sup> ×2池 φ34.0m×H11.1m ]  その他 [ 計装設備 油圧駆動式緊急遮断装置 ]  平成20年度 一日平均配水量(実績) 約 41,200m <sup>3</sup> /日 (全給水区域の約 65%)

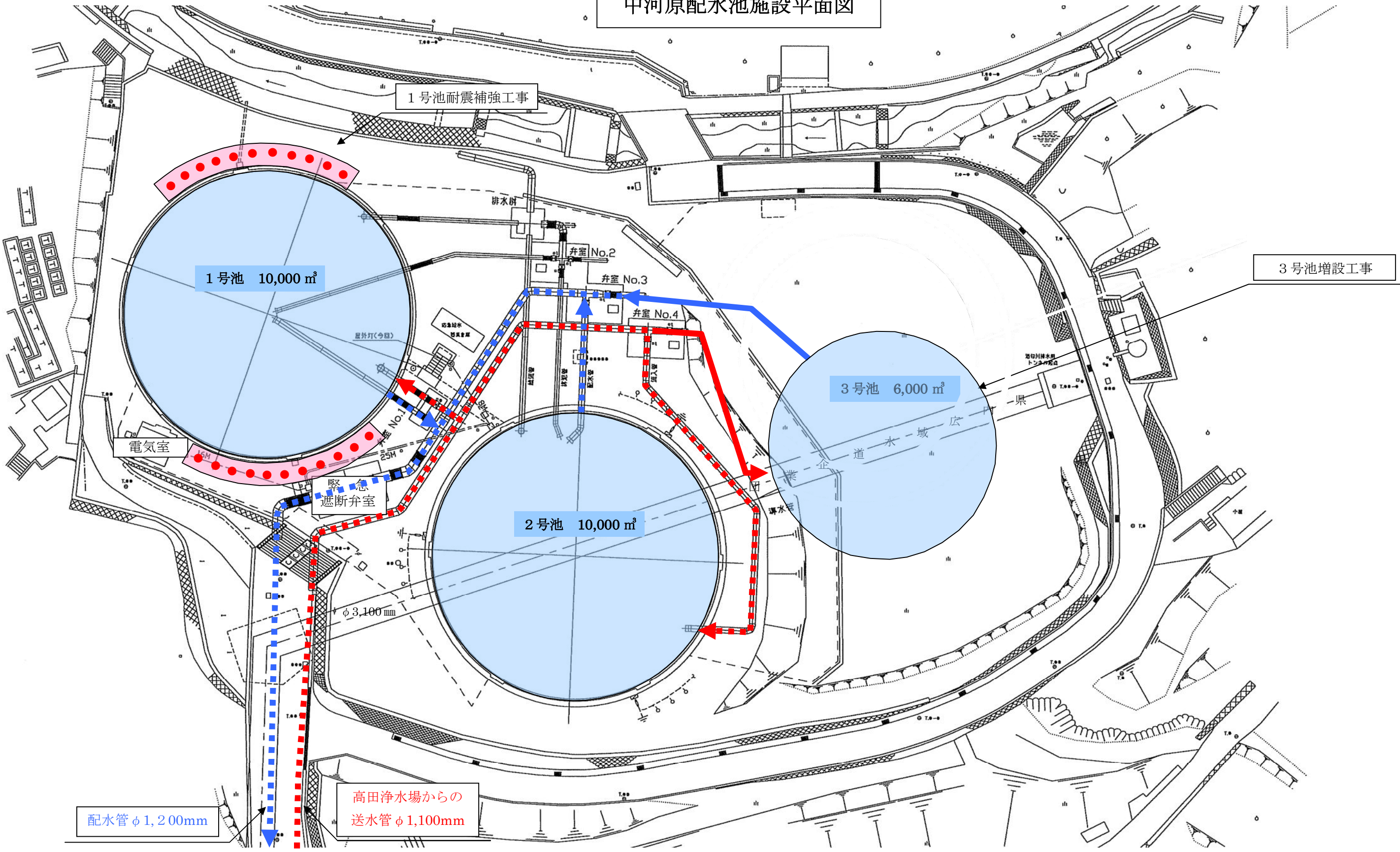
## 2. 飯泉取水ポンプ場(企業団施設内)

	構造・形式・能力
水源 酒匂川表流水  竣工 昭和49年	主要設備 取水堰、取水口、沈砂池、ポンプ井、ポンプ設備(3台)  計画・実績水量 [ 水利使用許可 245,200m <sup>3</sup> /日(企業団との協定に基づく) 国認可計画取水量 76,897m <sup>3</sup> /日 平成20年度 一日最大取水量(実績) 約 64,000m <sup>3</sup> /日 ]

## 3. 小峰配水池

	構造・形式・能力
標高 80.4m  竣工 昭和11年～ 平成5年	配水池 有効容量 5,600m <sup>3</sup> [ RC造 1,200m <sup>3</sup> ×3池(S11×2池、S23×1池) 1,000m <sup>3</sup> ×2池(H5×2池) ]  その他 [ ポンプ設備 電気設備 計装設備 油圧駆動式緊急遮断装置 ]  平成20年度 一日平均配水量(実績) 約 6,500m <sup>3</sup> /日 (全給水区域の約 10%)

# 中河原配水池施設平面図



1号池耐震補強工事

1号池 10,000 m<sup>3</sup>

2号池 10,000 m<sup>3</sup>

3号池 6,000 m<sup>3</sup>

3号池増設工事

配水管 φ 1,200mm

高田浄水場からの  
送水管 φ 1,100mm

緊急  
遮断弁室

φ 3,100 mm

弁室 No.2

弁室 No.3

弁室 No.4

電気室

屋外灯(今回)

石金給水  
器具設置

No.1

25M

配水管

排水管

配水管

配水管

配水管

配水管

配水管

配水管

配水管

配水管

配水管

配水管

配水管

配水管

排水溝

排水溝

排水溝

排水溝

排水溝

排水溝

排水溝

排水溝

排水溝

排水溝

排水溝

排水溝

排水溝

排水溝

排水溝

排水溝

排水溝

排水溝

電気室

電気室

電気室

電気室

電気室

電気室

電気室

電気室

電気室

電気室

電気室

電気室

電気室

電気室

電気室

電気室

電気室

電気室

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

φ 3,100 mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

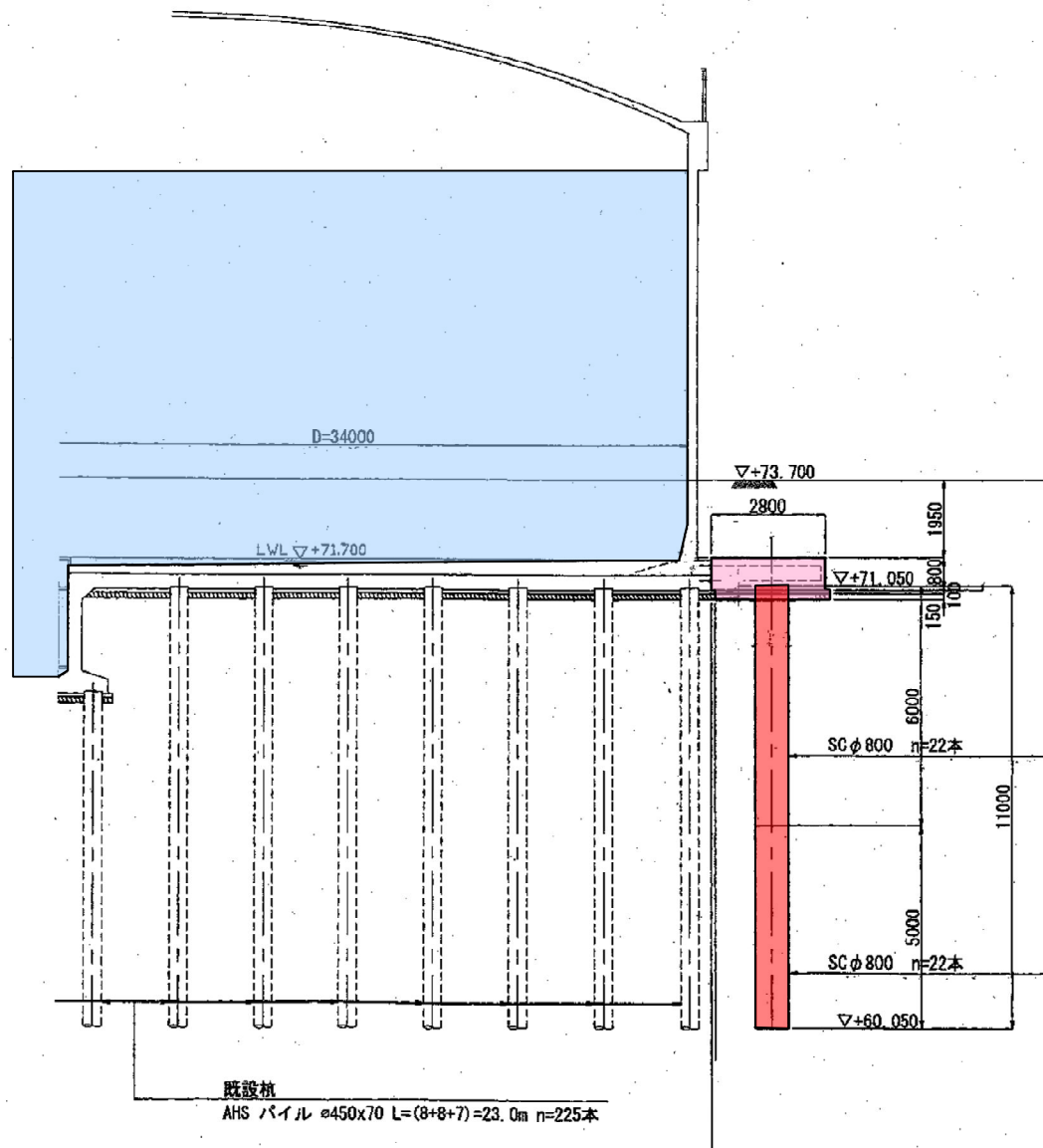
配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

配水管 φ 1,200mm

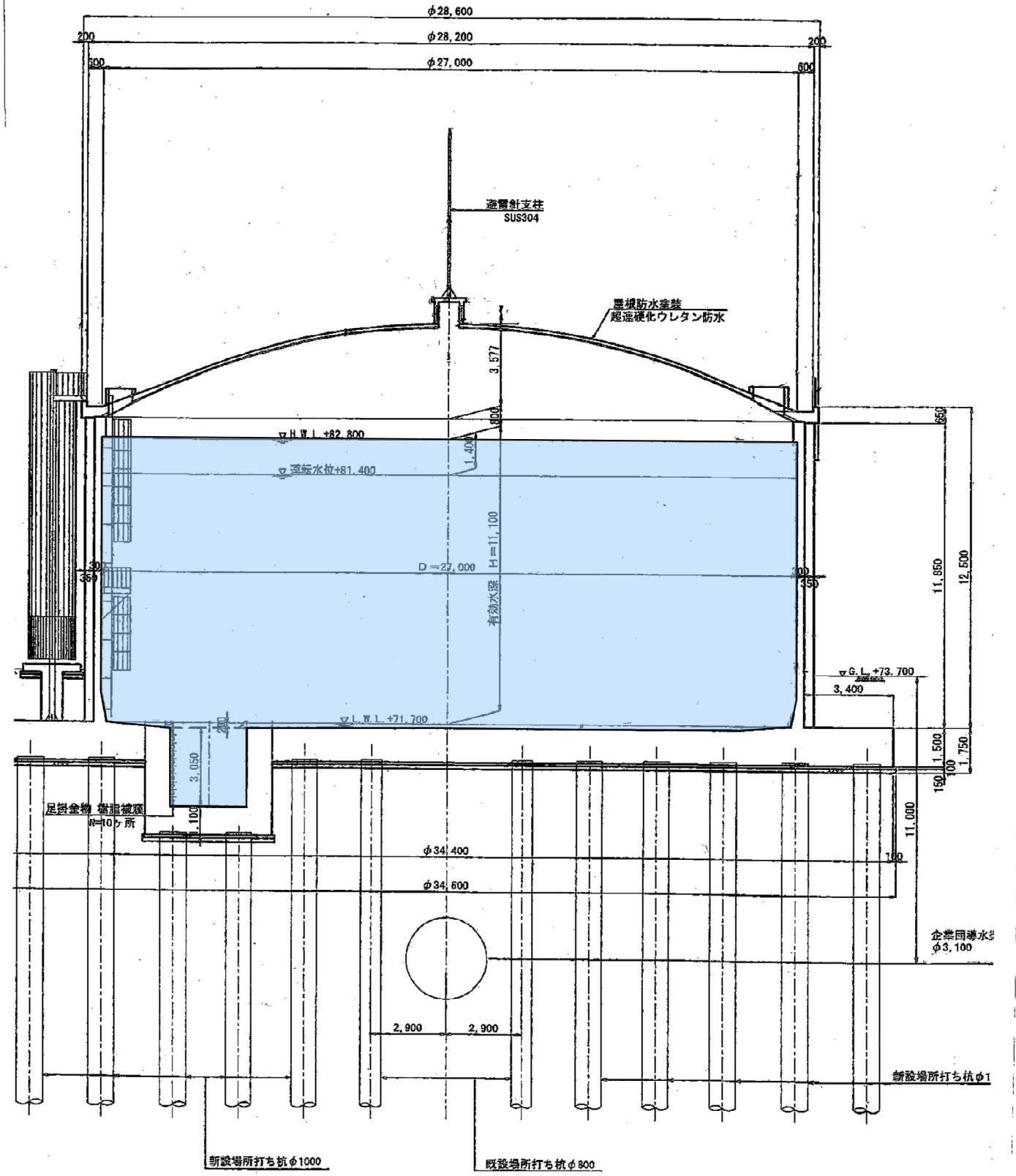
配水管 φ 1,200mm

### 1号池耐震補強工事

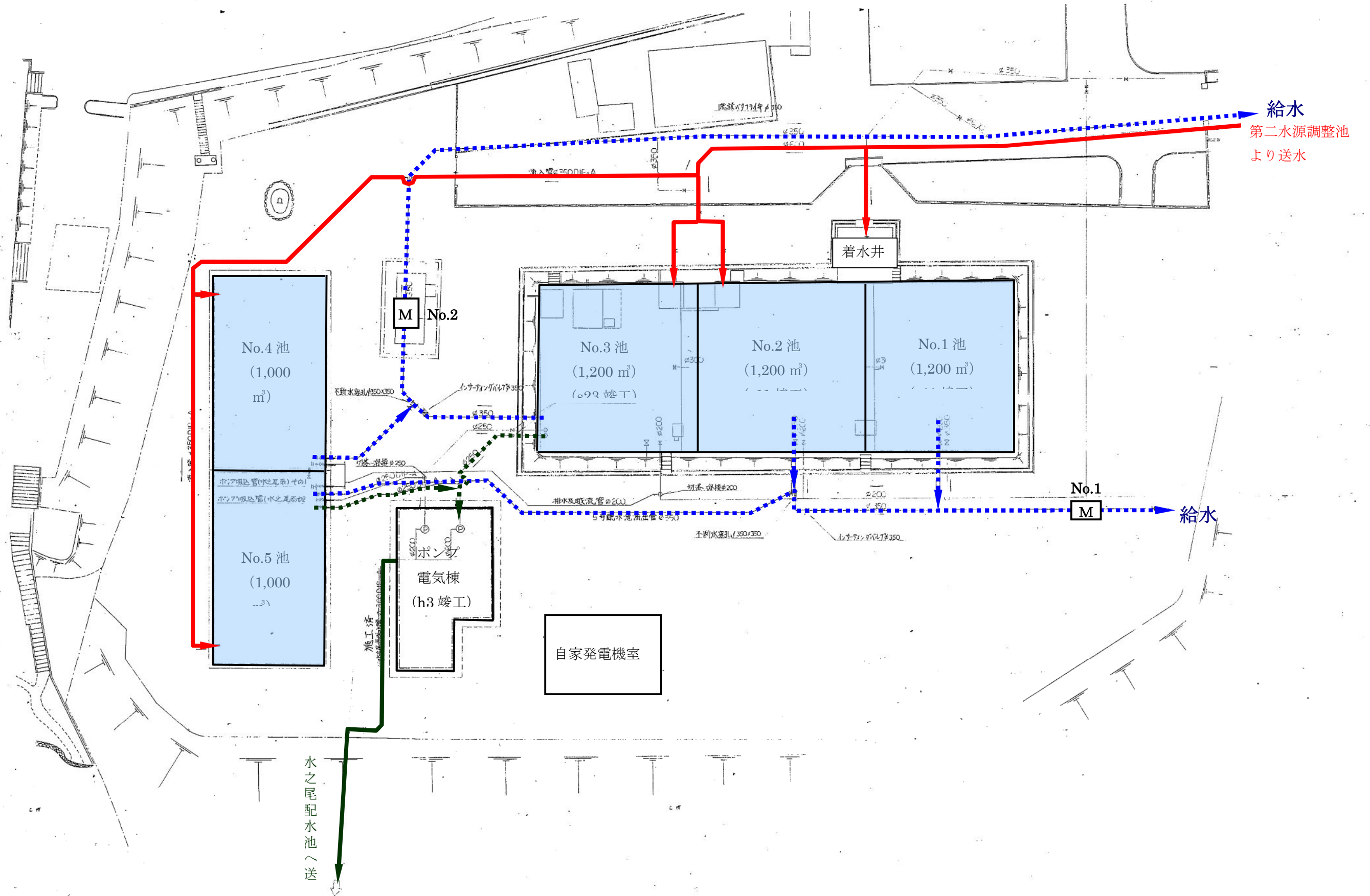


<基本寸法>	
呼び容量	$V_e = 6,000 \text{ m}^3$
内径	$D = 27,000 \text{ m}$
有効水深	$H_e = 11,100 \text{ m}$
設計水深	$H = 11,100 \text{ m}$
壁厚	$t = 0,300 \text{ m}$

### 3号池新設工事

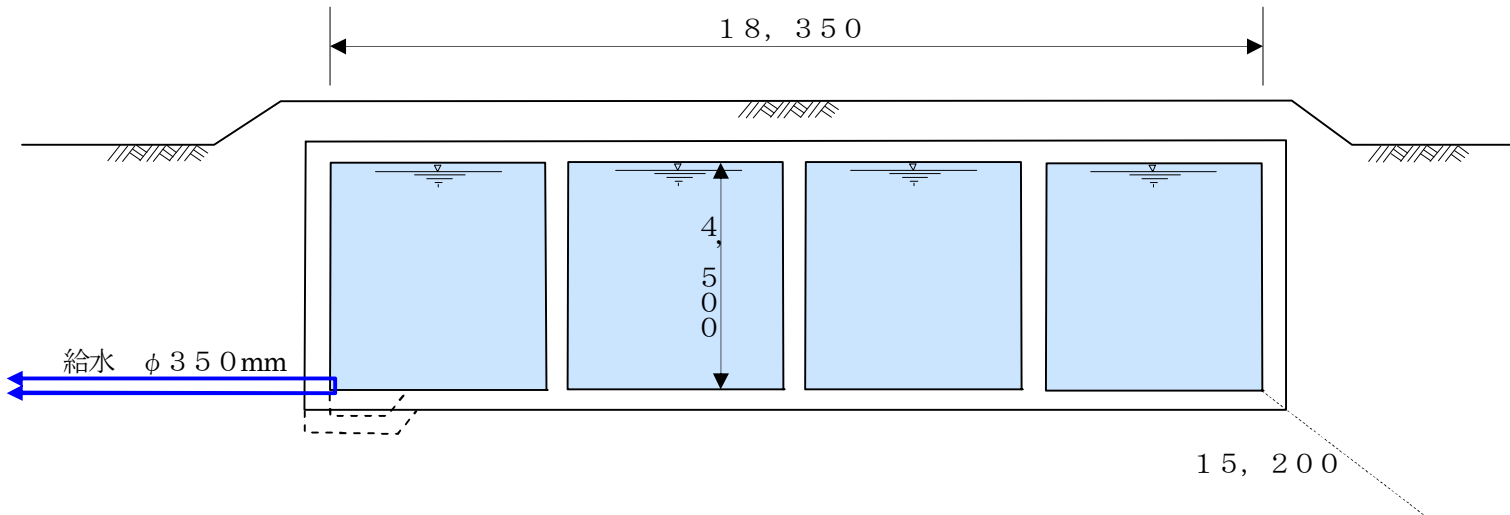


場内配管全体平面図 S-1: 200

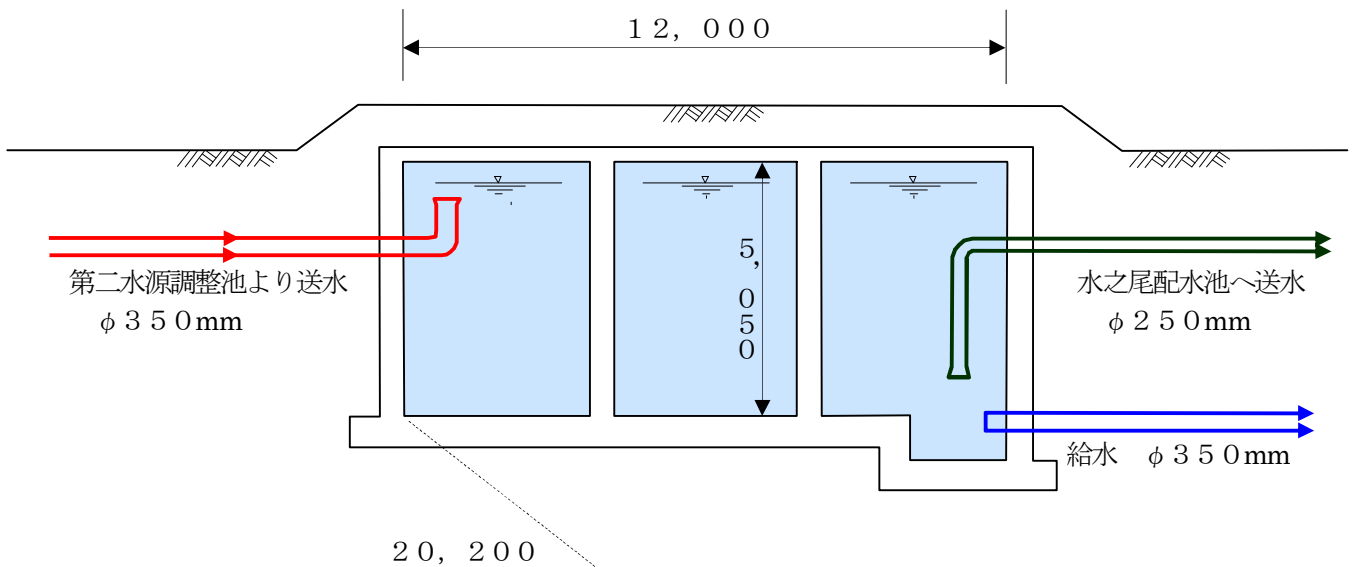


# 小峰配水池断面図

## 1号池、2号池、3号池



## 4号池、5号池





## 小田原市水道料金審議会 会議録

会議名	第3回 小田原市水道料金審議会	
日時	平成21年10月29日(木) 14時~16時25分	
場所	水道局第2・3会議室及び各施設	
次第	1 第2回小田原市水道料金審議会会議録の確認 2 施設の視察(中河原配水池、飯泉取水堰、小峰配水池)	
資料	・施設見学行程、施設概要・配置図	
出席者	審議会	武松会長、茂庭副会長、大西委員、木村委員、岳下委員、 檜山委員、三浦委員、譲原委員
	事務局 (市)	局長、次長、技術指導担当参事、給水課長、水質管理課長、 営業課長補佐、工務課長補佐、 営業課担当者3名、工務課担当者1名
傍聴者	0人	

営業課長補佐の司会により、園田委員、渡辺委員の欠席の報告と第4回小田原市水道料金審議会の開催日程について、事務連絡が行われる。  
(第4回小田原市水道料金審議会は、11月16日午後2時から開催)

営業課長補佐から武松会長に進行が移り、第3回小田原市水道料金審議会が開会される。

武松会長

本日の出席委員が、委員総数の2分の1以上であるため、小田原市水道料金審議会規則第5条第2項の開催要件を満たしていることを報告します。

武松会長

次第のとおり、進行させていただきます。  
始めに、次第1、「第2回小田原市水道料金審議会会議録の確認について」  
内容をご覧になって、言い回しや発言趣旨が違っているなど、お気付きの箇所がありましたらご発言いただきたいと思います。いかがでしょうか。

譲原委員

<修正箇所の発言>  
会議録の10ページ3行目「～(略)～それが水道事業であるが、原水は無料であるのか。」とあるが、「～(略)～それが水道事業にとって大きな負担になると思うのですが。」という言い方をしたつもりである。水資源の開発に非常に多額の投資が必要でありますし、その後でも、ダムを初めとしていわゆる維持管理費が長期間にわたり相当の負担がある。それが水道料金に跳ね返ってくるという構造になっている。原水確保のための投資金額というのは、水道料金を構成する上で大きな意味を持つところである。またそれが水道料金の構成の大きな部分を占めることとなる。ということから、「大きな負担」あるいは「重い負担」どちらかの言い回しをしたと思う。「～(略)～それが水道事業であるが、大きな負担になっているでしょう。」という質問に対して「無料です。」という回答になる訳です。

営業課長補佐

「水資源の開発のために水道事業者は多額の投資をしているが、それが水道事業経営に大きな負担になっていないか。」という形でもよろしいでしょうか。答弁については「原水は無料である」で、よろしいでしょうか。

譲原委員                    お答えは分かりました。幸いなことであります。

営業課長補佐                それでは復唱いたします。「水資源の開発のために水道事業者は多額の投資をしているが、それが水道事業経営に大きな負担になっていないか。原水は無料であるのか。」という形でよろしいか。

譲原委員                    原水が無料ということは、この時には分かっていた。

営業課長補佐                「～（略）～それが水道事業経営に大きな負担になっていないか。」で、質問は止まる形でよろしいか。答弁の方は、小田原の場合は「原水については無料である」という答弁内容でよろしいでしょうか。

武松会長                    会議録については、後で差し替えという形でよろしいですね。  
会議録が要点筆記という形ですので、質問と答弁がかみ合うように直されたと思うので、譲原委員の発言趣旨を汲んだ内容にして、差し替えを行っていただければと思います。  
この他にお気付きの点はございますでしょうか。よろしいでしょうか。  
それでは、10ページにつきましては、改めまして、差し替えということで対処したいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

営業課長補佐                ご指摘のページにつきましては、後日差し替えをさせていただきたいと思っております。また、委員の皆様へ直したものを送りさせていただきたいと思っております。

武松会長                    続きまして、次第の2、施設見学となっておりますが、事務局から説明をお願いします。

営業課長補佐                施設見学でございますが、これまでの審議会の中で、水道事業の沿革と概要、そして施設の現状等をご説明してまいりましたが、委員の皆様にも実際の施設をご覧いただきたいと存じます。  
委員の皆様におかれましては、別紙配車表のとおり、車に分乗していただき、行程表のとおり施設見学を行いたいと存じます。所要時間は、約2時間を予定しております。それでは、2時10分に出発いたしますので、正面玄関にお集まりいただきますようお願いいたします。

次の行程で施設見学を行う。

14:10 (水道局出発)

↓

14:20 (到着)

↓

①中河原配水池見学 (15分)

14:35 (出発)

↓

<企業団水道路～国道255号:経由～>

15:00 (到着)

②飯泉取水ポンプ所 (50分)

15:50 (出発)

↓

<酒匂橋～国道1号～競輪場:経由～>

16:10 (到着)

③小峰配水池 (15分)

16:25 (出発)

↓

<城山競技場:経由～>

16:30 小田原駅西口

17:00 水道局到着

小峰配水池の見学終了後、現地にて、武松会長から次回の開催日時  
の連絡と挨拶が行われ、第3回小田原市水道料金審議会を終了する。  
現地解散となる。

以上

